

令和2年度選定未来成長企業の企業概要

(五十音順)

番号	企業名	代表者職・氏名	業種	事業の概要
1	(株)アキタ製作所	代表取締役 秋田 浩二	はん用機械器具製造業	主に生産ラインに用いられる機械装置の設計・制御・組立・据付を行っている。様々な生産ラインに用いる機械装置に対応できる中、「おが粉製造機」は国内シェアNo.1である等技術力の高い製造を行っている。
2	(株)一和誠寿	代表取締役 高岩 和徳	飲食店 (専門料理店)	レストラン「地鶏の里」の運営、天然軟水「JOJONA」天然軟水炭酸水「JOJON」の製造販売、万能調味料「野菜の素(やせのもと)」の製造販売を行っている。
3	(株)英楽	代表取締役 池田 英勝	食品製造業	製造から販売までを自社完結できる、養鶏、食品製造業を行っている。鶏肉の独自ブランド「夢創鶏」の6次産業化も行う等、独自商品開発や全国的な販路開拓にも積極的に取り組んでいる。
4	えびの電子工業(株)	代表取締役社長 津曲 洋一	生産用機械器具製造業、 電子部品・デバイス・電子回路製造業	1975年創業。「地域で豊さを創造し発展を続ける100年企業」をビジョンに掲げ、各業界の省力化設備やシステムの開発及びメンテナンス、電子部品・自動車部品製造事業を6工場700名体制で展開している。
5	(有)大田商店	代表取締役 大田 幸宏	水産養殖業	掛け流し式の陸上養殖により、ヒラメ、トラフグ、鰻の養殖を行うほか、鮮魚販売の仲介と天然塩製造販売も手掛ける。主力の養殖事業においては、IoT化による生産合理化とブランド力向上・販路拡大を目指している。
6	(株)岡田商店	代表取締役 岡田 栄一	飲食料品卸売業	大正元年に創業し、乾椎茸を全国に出荷する産地乾椎茸問屋として、地域の乾椎茸生産者との関係性を深めてきた。現在は全国へ数多くの販路を持ち、乾椎茸を用いた新商品開発、料理教室、食育活動などの乾椎茸の普及活動にも積極的に取り組んでいる。
7	農事組合法人 香川ランチ	代表理事 香川 憲一	農業	卵の会社として、「安心・安全・新鮮」な鶏卵を食卓に届けるだけでなく、卵を原料とした加工品を製造している。敷地内の物産館では朝どれ卵と自社商品、スイーツなどを製造・販売しており、生産から販売まで農業の6次産業化を進めている。
8	(株)かぐらの里	代表取締役社長 濱砂 修司	食品製造業	過疎高齢化が進む中、地域存続のため、地域資源である柚子や唐辛子などの農産物を、生産から加工・販売までの一貫体制をとっている。市内外の店舗販売だけでなく、ネット販売、ふるさと納税の返礼品等国内にとどまらず世界で販売されている。
9	キムラ漬物宮崎工業(株)	代表取締役 木村 昭彦	食品製造業	昭和47年に新富町で創業。創業当初から培ってきた高い発酵技術を生かしたたくあんが主力商品。たくあんの消費量が落ち込む中、味や切り方を工夫した商品開発や、熟成ぬか床や漬漬の素などを積極的に提案するなど、新たな漬物ファンの獲得に取り組んでいる。
10	(株)餃子の馬渡	代表取締役 馬渡 陽一郎	食品製造業	「餃子のまち高鍋」を代表する老舗であり、現在実店舗3店舗とオンラインショップを運営。平成29年には「もっちり餃子」・「もっちり皮」の商標登録を行いブランド化、「安全性、鮮度、美味しさ、素材の産地」にこだわった商品を提供し続けている。
11	(株)共立電照	代表取締役社長 船ヶ山 保幸	電気機械器具製造業	トンネル灯や街路灯、投光器、スコアボードサイネージ等のLED照明の開発から製造・販売・据付までを一貫して行っている。宮崎本社工場だけでなく、東京・大阪・福岡・沖縄にも支店を構え、全国各地に販路を広げている。
12	五ヶ瀬ワイナリー(株)	代表取締役 原田 俊平	飲料・たばこ・ 飼料製造業	2003年7月創業。業歴17年。五ヶ瀬町の地域活性化策の一環として設立。町内のブドウ栽培を促進し、100%五ヶ瀬産ブドウによるワインを製造。多くのワインコンクールでの受賞実績がある。
13	(株)コムテック	代表取締役 笹栗 康	飲料・たばこ・ 飼料製造業	配合飼料「ドライTMR」及び発情感知システム「牛歩」の製造販売によって、畜産農家の生産性向上に貢献している。牛の繁殖におけるリーディングカンパニーとして認知されている。
14	(有)昭和ゴムサービス	代表取締役社長 青山 一	その他の産業 (工業用ゴムベルト加工販売)	工業用ゴムベルトや搬送機器を取扱う特殊な企業であり、生産ラインの要でもあるベルトコンベアを繋ぐ仕事を主として県内外から受注を得ている。独創的なアイデアと業界屈指の技術力で顧客のニーズに合わせたコンベアベルト・樹脂ベルトを提供し、生産能力効率化のサポートに努めている。

番号	企業名	代表者職・氏名	業種	事業の概要
15	(株)新生工業	代表取締役 芥田 恭典	その他の製造業	樹脂・金属の焼き付け塗装事業からスタートし、その後、パット印刷、シルク印刷、色入れ事業を経て、現在はレーザーマーキング、レーザー彫刻、UV印刷、射出成形、マシニングセンターの設備を整え、製品の一貫生産ができる体制を整えている。
16	(有)竹炭の里	代表取締役社長 飯田 浩一郎	その他の製造業	地元の竹資源の有効活用を目的に農業法人として設立。原料となる竹の栽培・育成から本格土窯を使用した昔ながらの製法により最高品質の竹炭・竹酢液を製造。安全・安心な宮崎県産の竹炭・竹酢液製品のブランド化を目指している。
17	(株)TANI	代表取締役 野中 直樹	プラスチック製品製造業	1959年5月創業。業歴60年。旭有機材(株)の柵内協力企業として発展。材料の支給を受け、加工の賃請に特化。射出成型された樹脂製バルブ部品の量産機械加工を行っている。提案型樹脂加工のプロ集団が目標。2018年に第2工場を設立し、金属製品の加工分野の新規事業に取り組んでいる。
18	(有)南建興業	代表取締役社長 南曲 久洋	鉱業、採石業、砂利採取業	「どこにもない宮崎の資源を日本や世界に広める」をモットーに、都城地域でしか産出されない高品質な農業・園芸用の土壌改良用ボラ土等を生産・加工し、スピーディーな出荷体制のもと西日本エリアを中心に販売している。
19	(株)南郷包装	代表取締役 川野 純一	プラスチック製品製造業	お客様や地域に愛される企業を目指し、発泡スチロール成型品の製造販売、包装資材販売をはじめ、観光部門の事業として「道の駅」なんごうや都井岬観光交流会館「PAKALAPAKA」(パカラパカ)の指定管理業務を行うほか、子供服リユースショップSAGARIOの運営を行っている。
20	ネオフーズ竹森(株)	代表取締役 竹森 兼富	食料品製造業	「安全・安心な商材を提供し、会社・従業員の繁栄と幸せを実現する」という企業理念のもと、特産物である鶏肉、豚肉の加工品やドレッシング等の製造販売を行っている。全国観光土産品連盟の推奨商品として認定された実績がある。
21	(株)ハマテック	代表取締役 濱砂 道太	設備工事業	電気工事業として主にメガソーラーの施工、メンテナンス事業を行うほか山林の素材生産事業を行っている。また令和元年5月より、村外観光客誘致のため「グランピング(キャンプ体験)」や「ダッキー(川くだり)」などのアクティビティ事業を行っている。
22	(株)ハンク・ディーシー	代表取締役社長 朽木 敬之	飲食店(食堂・レストラン)	企業使命「価値創造で感動共有。ワクワクできる食の世界を創る」のもと、国産牛100%の炭焼霜降りハンバーグと宮崎牛ステーキを主力とした「炭焼ハンバーグ専門店 平家の郷」を宮崎・首都圏に直営8店舗(F2店舗)展開している。
23	(株)光コーポレーション	代表取締役 工藤 勝利	宿泊業・各種商品小売業	2010年4月創業。業歴9年。県内の有数の観光地高千穂町に所在。高千穂町を訪れる観光客から要望のあった、不足していたシングル対応のホテルグレイトフル高千穂とATM機能をもつ全国チェーンのファミリーマート2店を経営している。
24	(株)ひのかげアグリファーム	代表取締役 佐藤 貢	農業	2016年10月創業。業歴4年。自治体出資型の株式会社。水稲育苗、田植え、稲刈りや、農地・樹園地草刈りなどの農作業受託をはじめ、自社による大玉トマトの生産など、高齢化する農家の手助けとして今後も期待されている。
25	マツタ工業(株)	代表取締役社長 松田 佳久	生産用機械器具製造業	1966年12月創業。業歴53年。金型の加工を行う金属加工部門を中核に、量産型の樹脂加工部門、機械保全部門と大きく3分野で、そのベースとなる大型機械を複数台所有し、海外への販路開拓も図り、多角的な事業内容を実施している。
26	ミツイシ(株)	代表取締役 黒木 宏二	食料品製造業	1917年蛤基石製造所として創業。世界で日向市だけが有する蛤基石の伝統と技術を守りながら、日向夏などの宮崎県の地域資源を活かした食品製造業を今後の中核事業と位置付け、事業の拡大を目指している。
27	(有)宮崎上水園	代表取締役 上水 漸	飲料・たばこ・飼料製造業	農業や化学肥料は一切使わず、太陽の光、水といった自然のエネルギーを最大限に生かした独自の栽培法と加工法でお茶づくりをしている。栽培から加工、販売まで、すべての工程を自社で行っている。主力商品はバイオ茶。
28	(株)吉永林業	代表取締役社長 吉永 勝正	林業	山林の立木伐採、木材伐採、搬出を行い、木材の資材生産を行っている。宮崎県中山間地域に広がる豊かなスギ等の森林資源を活用した地域の重要な産業である。生産資材は海外へも輸出されている。